

牛乳の購入でモザンビークの子どもたちへの栄養プログラムを支援するプロジェクト

## 2013年度『ハッピーミルクプロジェクト+ぷらす』 7月15日(月・祝)スタート

2012年度の募金総額は1,827万6,324円となりました

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、加盟生協：関東信越の6生協）は、牛乳の購入でモザンビークの子どもたちへの栄養プログラムを支援するプロジェクト『ハッピーミルクプロジェクト+ぷらす』の2013年度のキャンペーンを7月15日（月・祝）から9月8日（日）まで実施いたします。また、2013年度2期のキャンペーンは10月21日（月）から12月5日（木）まで予定しています。

『ハッピーミルクプロジェクト+ぷらす』は、「社会とのつながり」の価値を実現していくために、「食べることの大切さ」、「平和の大切さ」を考えるきっかけとなるように、2008年に開始した国際支援の取り組みです。（開始当初の名称は「ハッピーミルクプロジェクト」）

『ハッピーミルクプロジェクト+ぷらす』では、キャンペーン期間中にコープネット事業連合に加盟する6生協が取り扱うCO・OPマークのついた牛乳（全23種類）を店舗や宅配サービス「コープデリ」でお買い上げいただくと、1本あたり1円を、コープがモザンビークのユニセフ指定募金に寄付するものです。対象となる牛乳の購入時だけでなく、宅配サービス「コープデリ」の募金や、コープデリのお買い物でたまったポイントを募金に振り替えることでの参加もできます。

集まった寄付金は、モザンビークで栄養指導をする保健員の育成や、栄養についての基礎知識の研修、栄養補助食品や栄養指導に必要な器具の購入、農村での栄養に関する広報活動や健康診断の実施などに役立っています。なお、2012年度のキャンペーン期間のCO・OPマーク牛乳の販売本数は1,541万5,494本で、個人募金を含めた募金総額は1,827万6,324円でした。プロジェクトを開始した2008年度から5年間で、募金総額は約1億円となっております。

さらに『ハッピーミルクプロジェクト+ぷらす』では、モザンビークの現地状況の把握のほか、モザンビークの保健・医療従事者との交流、コープネットグループの組合員や職員から寄せられた応援メッセージの贈呈などを行っています。現地の医療従事者へのメッセージについては、2011年度は約1,500通、2012年度は約2,600通と、年々広がりを見せています。

コープネットグループは、多くの消費者・組合員に世界の食に関する問題について関心を持っていただけるよう、今後も国際社会に向けた活動によりいっそう取り組んでまいります。

実施概要等につきましては次ページをご参照ください。



### <2013 年度『ハッピーミルクプロジェクト+ ぷらす』実施概要>

- 【キャンペーン期間】 第1期:2013年7月15日(月・祝)~9月8日(日)  
第2期:2013年10月21日(月)~12月5日(木) <予定>
- 【対象品目】 CO・OP マークのついた牛乳(全23種類)
- 『ハッピーミルクプロジェクト+ ぷらす』ホームページ <http://happymilk.coopnet.jp>

### <2012 年度『ハッピーミルクプロジェクト+ ぷらす』の結果>

- 【キャンペーン期間】 第1期:2012年7月16日(月・祝)~9月2日(日)  
第2期:2012年10月15日(月)~11月18日(日)
- 【対象品目】 CO・OP マークのついた牛乳(全23種類)
- 【募 金 総 額】 1,827万6,324円(個人募金215万4,324円を含む)
- 【対象牛乳販売本数】 1,541万5,494本

### ■モザンビーク共和国の子どもたちの栄養不良

モザンビークにおける栄養不良は、食べるものが足りないことだけでなく、食事の慣習や栄養に対する知識不足などが原因で、子どもに適切な食事が与えられず、体の成長に必要な栄養を不足させてしまうこともあります。また、栄養の知識があっても、貧困等の問題により、栄養バランスのとれた食事をとることは容易ではありません。

このような状況から、子どもが栄養不良によって命を落とさないためには、①栄養不良の子どもを見つけ出し治療すること、②栄養不良を未然に防ぐこと、の2つのアプローチが必要となります。そのためには、子どもの栄養に関する専門家が必要ですが、モザンビークではその専門家が不足しています。『ハッピーミルクプロジェクト+ ぷらす』の寄付金は、栄養指導をする保健員の育成をはじめ、ユニセフとモザンビーク政府が共同で取り組んでいる、子どもたちに対する栄養プログラム(下記参照)の支援に利用されています。

### ■モザンビーク共和国の子どもたちに対する栄養プログラム

- ・乳幼児の栄養と健康に関する知識と技術を持った人材育成の支援
- ・乳幼児の健康診断、微量栄養素の補給、実演型・参加型栄養教育、母乳育児の促進、栄養不良の子どもたちの治療など、地域で行われている活動の支援
- ・栄養に関する広報活動の支援
- ・栄養不良の子どもを治療するための栄養強化食品や微量栄養素などの調達 など

### 《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13

【理 事 長】 赤松 光 (あかまつ ひかる)

【会員生協】

生活協同組合コープみらい※	埼玉県さいたま市南区根岸 1-5-5	理事長	田井 修司
いばらきコープ生活協同組合	茨城県小美玉市西郷地 1703	理事長	佐藤 洋一
とちぎコープ生活協同組合	栃木県宇都宮市川町 858	理事長	古口 葉子
生活協同組合コープぐんま	群馬県桐生市相生町 1-111	理事長	梅澤 義夫
生活協同組合コープながの	長野県長野市篠ノ井御幣川 668	理事長	上田 均
生活協同組合コープこいがた	新潟県新潟市西区山田 2309-7	理事長	小林 昭三

※ちばコープ、さいたまコープ、コープとうきょうは組織合同し、3月21日よりコープみらいとしてスタート

【総事業高】 4,930億円(会員生協事業高計) ※2012年度

【組合員数】 413万人(会員生協組合員計) ※2013年6月20日現在

【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>